

第15回国際エチオピア学会に参加して

西崎 伸子

第15回国際エチオピア学会が、ドイツのハンブルグ大学において、2003年7月21日から25日まで5日間にわたって開催された。主催者はハンブルグ大学、アジア・アフリカ研究所である。ハンブルグは港町で、商業を中心に発展してきたドイツ第二の大都市である。会場となった大学周辺は、町の喧噪を感じさせない静かなところで、参加者の多くが近辺のホテルに宿泊した。学会後は、学生街に立ち並ぶレストランやカフェで、研究者同士がビール片手に楽しいひとときを過ごした。

学会の最終的な参加者は377名、発表論文数363であった（このうち多くの発表キャンセルがあったため、実数はこれをかなり下回ると思われる）。参加者数377名というのは、前回、前々回と比較しても増加しており、学会の歴史のなかでも最大規模の大会となった。日本からの参加者も過去最大で、石原美奈子（南山大）、金子守恵（京都大院）、川瀬慈（京都大院）、栗本英世（大阪大）、佐藤廉也（九州大）、重田眞義（京都大）、曾我亨（弘前大）、田川玄（広島市立大）、ダニエル・パヘタ（京都大院）、テレジェ・フェイツァ（大阪大）、マイケル・シャクトトン（大阪学院大）、福井勝義（京都大）、藤本武（人間環境大）、真城百華（津田塾大院）、松田凡（京都文教大）、松村圭一郎（京都大院）、マモ・ヘボ（京都大院）、それに私の18名が発表をおこなった。また、エチオピア人の参加者は56人、エリトリア人の参加者は、7人であった。今回は、エチオピアからの若手研究者の参加が少なかったように思う。参加者のリスト、発表のアブストラクトは、ハンブルグ大学のホームページに記載されている（<http://www.rrz.uni-hamburg.de/ICES2003/>）。論文集は学会後に刊行される予定となっている。私は前回のアジスアババ大学でおこなわれた第14回大会にオブザーバーとして参加し、発表者としては参加するのは、本学会が始めてであった。国際学会での初めての発表ということで準備におわれ、学会のすべてを概観でき

る余裕はなく、セッションへの参加も非常に限られたものであった。

今回セッションは、「言語学（1）（2）」、「文学・哲学」、「宗教」、「芸術」、「歴史（1）（2）」、「人類学（1）（2）」、「法学と政治学」、「環境、経済、教育問題（1）（2）」の8つに区分けされていた。私は環境、経済、教育問題のセッションで発表をおこなった。プログラムでは、土地問題、森林保全、農村開発などの現代的問題に取り組む興味深い発表が予定されていたにもかかわらず、その多くがキャンセルされた。3名ないし4名の発表者ごとに一人の座長が予定されていたが、発表者全員が揃っていないことの方が稀で、1名ないし、すべての発表がキャンセルされることもあった。さらに、座長が姿を見せず、会場にいた参加者が座長を突如引き受ける光景も見られた。発表キャンセルは、学会ではよくあることなのかもしれない。しかし、あまりの数の多さと、それを事前に知らされないのは、発表者としても、聴衆者としても残念だった。とくに、私の興味のある環境分野は、自然科学的研究に比べて社会科学的研究の蓄積が少なく、研究者同士が交流する機会もあまりない。今後、エチオピアの環境分野においても、社会科学的研究がより求められるようになることを考えれば、多種多様な研究者が交流し、研究発表をより積極的にしていくことが必要になるのではないだろうか。そういった意味では、今回、南オモ地域で研究するドイツ人の若い人類学者と、研究について多くの議論をすることができたことは私にとって非常に有益な時間だった。彼らとは南オモのジンカでフィールドワーク前後に、食事を一緒にするなど交流を続けてきたが、エチオピア研究を担わなければいけない若い世代の研究者と切磋琢磨しながら研究をすすめていくために、今後も研究成果の交換を続けていきたい、と強く感じた。

（にしぎき のぶこ 日本学術振興会／京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

日本からの参加者による発表題目

- | | |
|---------------------------------|--|
| 石原 美奈子
金子 守恵 | 「Legacy of the Muslim merchants in southwestern Ethiopia」
「Characteristics of forming techniques and creativity: pottery making of Ari people in southwestern Ethiopia」 |
| 川瀬 慈
栗本 英世
佐藤 廉也
重田 眞義 | 「Some aspects of Azmari performance in social occasions in North Gondar」
「Political system of the Anywaa (Anuak) reconsidered」
「20th century' s history of land use and settlement patterns in Majangir」
「Indigenous resources for endogenous development: an appraisal of potentialities in Ethiopia' s diversity」 |
| 曾我 亨 | 「To be the Oromo or to be the Somali?: The selection of the ethnicity by the Gabra Migo, pastoralist in southern Ethiopia」 |
| 田川 玄 | 「Relationships between two age-systems: generation-set system and age-set system among the Borana-Oromo」 |
| ダニエル・バハタ
デレジェ・フェイッサ | 「The effect of formal and basic education in rural parts of Eritrea」
「Ethnic federalism in Ethiopia. Official intentions and local perceptions, the case of Anywaa-Nuer relations in the Gambela regional state」 |
| マイケル・シャクルトン
福井 勝義
藤本 武 | 「Urban anthropology in Ethiopian new towns: Jinka」
「Inter-Ethnic Raid & Homicide in Southwest Ethiopia」
「Linkage between the southwestward migration and the formation of a stratified society: the case of the Malo, southwestern Ethiopia」 |
| 真城 百華
松田 凡
松村 圭一郎 | 「British policy in Tigray during 1941-45」
「Bond-partnership and the social change in Lower Omo」
「Inter-ethnic relationships in a coffee producing community: a case of Gomma woreda, southwestern Ethiopia」 |
| マモ・ヘボ | 「Land rights in dispute: a diachronic view of land disputes among Arssi-Oromo farmers in Kokossa district, Southern Ethiopia」 |
| 西崎 伸子 | 「The role of community in wildlife conservation: natural resource use and management by Ari people neighboring to Mago National Park」 |